

# 自主防犯パトロールの手引き



成田市市民生活部交通防犯課

ファイルにして、次のパトロールに回しましょう。

## 1. 自主防犯パトロールの目的

地域のみなさんが主体となって安全で安心なまちをつくるため

犯罪や事故を未然に防止することを目標とし、次のような取り組みをしましょう。

- ① 自分たちの安全は自分たちで守るという考えを高めること
- ② 犯罪者を寄せつけない地域をつくること
- ③ 地域住民の連帯感を醸成すること

## 2. 自主防犯パトロールの始め方

- ① 仲間を集めましょう

自治会・町内会・PTAなど地域に居住する人や勤務する人でパトロールできる人を集めましょう。

- ② パトロール隊の名称を決めましょう
- ③ リーダーを決めましょう

パトロールを効果的に行うため、責任者・副責任者をきめましょう



④ パトロールの方法を決めましょう

あらかじめ、どのような方法（時間帯・区域・班編成など）でパトロールするかを決めましょう。

⑤ 警察からの情報を参考にしましょう

なりたメール配信サービスを携帯に登録して、警察などが発信する最新の情報を参考にパトロールしましょう。

なりたメール配信サービスの方法は下記アドレスにて紹介しています。



(<https://www.city.narita.chiba.jp/anshin/page068200.html>)

⑥ パトロールすることを知らせましょう！

地域のみなさんの協力を求めたり、仲間を増やしたりするために回覧板などを利用して、どのようにしてパトロールするかを地域の人に知らせましょう。また、警察にもお知らせください。

3. 自主防犯パトロールの必需品

① 防犯用ベスト・腕章など

パトロールしていることを地域の皆さんに知らせるため、「パトロール中」などと記載された防犯用ベスト

・帽子・腕章などを着用すると効果的です。



（市の防犯パトロール物品貸出制度あり）

② 青色合図灯

夜間、危険を回避するため。



メモ代わりに

③ 携帯電話

携帯電話からの110番通報は、局番なしで「110」をプッシュします。

④ メモ帳

不安な場所や危険な場所、不審な人や不審な車の特徴などをメモしてください。

⑤ 日誌

注意が必要な場所などの情報をパトロール隊の中で共有するため。

その情報がパトロール隊員から地域の住民へも伝わることにより、地域住民の防犯意識向上にも繋がります。

#### 4. 自主防犯パトロールの方法とポイント

それぞれの地域に合った方法で！

① 可能な範囲で行いましょう

無理をしないで、可能な時間帯・区域で行うことが継続する秘訣です。仲間を誘って防犯の帽子をかぶり、犬と散歩をするだけでも立派な防犯パトロールです。

② パトロールしていることがわかるような服装で行いましょう

パトロールしていることを見せることによって地域の防犯意識の高さを表し、犯罪者が近寄りづらくなり、犯罪が起きにくい環境になります。

防犯用ベスト、帽子、腕章など目立つ服装で行いましょう。

③ 徒歩で行いましょう

歩くことによって、自分たちの地域をよく知ることができます。

#### ④ 声かけをしましょう

犯罪者は、声をかけられることを嫌がります。出会った人には、積極的に「こんにちは」「こんばんは」などと挨拶しましょう。

また、声をかけ合うことによって、地域住民の顔を知ることができ、地域の連帯感が生まれます。

#### ⑤ 子どもの行動範囲の警戒

通学路や公園など子どもが多く集まる場所を警戒することで、犯罪者が近づけなくなり、子どもが安心して通学することや遊ぶことができるようになります。

#### ⑥ 情報交換をしましょう

ただパトロールするだけでなく、パトロールを通じて把握した危険な場所などの情報を交換し、防犯のまちづくりに役立てましょう。

### 6. 自主防犯パトロール員の注意点



#### ① 交通事故防止

パトロールの際は、交通ルールを守り、防犯用ベスト、帽子、腕章を着用して、交通事故に遭わないよう十分注意しましょう。

#### ② 危険なことはしない

他人の家をのぞき込んでいる見知らぬ人など、普段と様子が違うと感じる不審な人や不審な車を発見したり、事件を目撃したら、無理な追跡や危険なことはせず、一人ひとりが役割分担して、不審者の特徴、車のナンバー、逃走方向などをメモして、警察に通報しましょう。

#### ③ プライバシーを尊重しましょう

誰もが自分の家庭のことは干渉されたくないものです。他人の家庭のプラ

イバシーをみだりに干渉しないよう注意してください。

また、活動を通じて他人の家庭のプライバシーを知った時は、不用意にそれをもらさないようにしましょう。

## 7. 自主防犯パトロールの着眼点

**防犯のまちづくりは、みんなで犯罪が起きにくい環境づくりを！**

パトロールを通じて、地域の安全を守りながら、自分たちの地域の環境について、点検しましょう。

そして、事件や事故が発生する危険性が高いと思われる「危険な場所」を把握して、地域ぐるみで改善していくことが大切です。

### ① 通学路に異常はないか

子どもの安全を守るためには、不審者や不審な車両がないかなど、登下校時間帯や遊戯時間帯に配慮したパトロールが必要です。



### ② 公園などの遊び場に異常はないか

子どもが安心して遊べるよう、公園などの遊び場を警戒することが必要です。夕暮れ時になっても、子どもが遊んでいたら帰宅させましょう。

また、公園の見通しをよくすることも必要です。

### ③ 少年の溜り場となっている場所はないか

公園や店先など、少年の溜り場となっている場所がどこか把握しましょう。溜り場から非行が広がっていくからです。

### ④ 廃屋や空き家、空き地などに異常はないか

廃屋や空き家、空き地などは、犯罪の温床となったり、少年の溜り場となったりする危険性が高いので、管理者などへ改善の働きかけをしましょう。

⑤ 防犯灯の球切れなどはないか

球切れなどをそのまま放置していると、犯罪を誘発する危険性が高くなるからです。

8. 110番の仕組み

110番通報は、千葉県内のどこからかけても、千葉県警察本部通信指令課 110番受理台につながります。通報を受けた通信指令課では、警察署やパトカーにリアルタイムで無線指令をします。無線指令を受けたパトカーや交番の警察官が、現場へ急行して、犯人の逮捕や事件・事故の処理にあたります。

9. 110番通報するときの重要なポイント

110番通報すると警察官が次の要領でお聞きしますので、あわてず、落ち着いてはっきりお話しください。

1.事故ですか、事件ですか？	2.場所はどこですか？
	
<p>「不審な人がいます」「交通事故です」など簡単にお話してください。</p>	<p>交通標識、目標物など事件や事故が発生している場所をお話してください。</p>
3.いつですか？	4.犯人を見ましたか？
	
<p>今から〇分位前」「〇時〇分頃」など、事件や事故の発生がいつ頃なのかをお話してください。</p>	<p>犯人の年齢、身長や服装などの特徴や逃走方向、乗り物など犯人に関するをお話してください。</p>

## 10. 携帯電話で110番通報するときのポイント

1	2	3	4
現在地を確認してください	現場から離れないでください	移動しながら通報しないでください	通報後も電源を切らないでください

※ 身の危険を感じたら、近くの安全な場所で待機してください。

※ 電話をかけながらの運転は禁止されています。必ず安全な場所に停車してから通報してください。



### 自主防犯パトロール活動計画（例）

項 目	内 容
名 称	〇〇地区パトロール隊、〇〇守り隊 など
推進責任者(リーダー) 副責任者(サブリーダー)	〇〇町内会長、副会長 など
従 事 者	地区内に居住又は勤務する有志の方 ※ 地区や団体ごとにサブリーダーを置くことにより計画や連絡などがスムーズに行えます。
パトロールの時間・ 区 域 ・ 班 編 成	<p>1 時間 例 1班：午後2時～午後3時 2班：午後3時～午後4時</p> <p>2 区域 例 〇犯罪の発生状況などに応じて実施 〇地区を班ごとに分担して実施</p> <p>3 班編成 例 〇一班を数名で編成する。 〇班の中でパトロール・リーダーを選定する。</p>
計 画 の 策 定	<p>1 推進責任者は、翌月のパトロール計画を策定し、従事者へ計画表を回覧し、従事者ごとにパトロールできる日時を記入してもらう。</p> <p>2 全員の記入終了後、概ね毎月25日までに翌月の計画表を関係者に配布して知らせる。</p>
実 施 要 領	<p>1 原則として、数名で徒歩により実施する。</p> <p>2 パトロールの際は、防犯用ベスト、帽子、腕章などを着用し、出会った人には、積極的に「声かけ・挨拶」を励行する。 夜間は、青色合図灯、懐中電灯などを使用する。</p> <p>3 不審者や不審車両は必ずメモする。 事故を目撃した場合は、すぐに110番通報する。</p> <p>4 交通事故には、十分注意する。</p> <p>5 パトロール終了後は、次のパトロール・リーダーに申し送り事項などを引き継ぐ。</p> <p>6 定期的に検討会を開催して、問題点、改善点などを話し合う。 また、警察との情報交換を実施する。</p>
そ の 他	万一に備え、ボランティア保険に加入することも検討しましょう。手続き等詳しくは、市民協働課（Tel20-1507）にご相談ください。

※これは一例ですので、地域に合った方法で計画してください。

## 防犯パトロール日誌（例）

年 月 日	令和    年    月    日（    ）    時    分 ～    時    分
氏 名	
実施地域	
<p>《 業務内容 》</p> <p>※110・119番通報（事件・事故）</p> <p>    何があったか</p> <p>    いつ見たか</p> <p>    場所はどこか</p> <p>※犯罪情報</p> <p>    不審な人物（特徴）</p> <p>    不審車両（ナンバー）</p> <p>《 特記事項 》</p>	
<p>《 報告事項 》</p> <p>    市民からの相談（連絡先）</p> <p>    危険箇所の発見（場所）</p> <p>    その他</p>	

※次のパトロール担当者に渡しましょう。

### 110番通報メモ (例)

事 案 名	
発 生 日 時	令和     月     日     時     分頃
場     所	住 所 目標物
犯     人	① 男 ・ 女 (            ) 人 ② 身 長 (            ) センチ位 ③ 年 齢 (            ) 歳位 ④ 体 格 ( 肥満 ・ 普通 ・ 痩せ ) ⑤ 服 装 上衣 (            ) 下衣 (            ) ⑥ その他特徴 (例：眼鏡、ひげ、帽子等) (    ) ⑦ 凶器の有無 有 (            ) 無 (            ) ⑧ 逃走方向 現場から (            ) 方向へ ⑨ 逃走手段 ( 徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ バイク ) ⑩ ナンバー (            ) ⑪ 塗 色 (            ) ⑫ 車 名 (            ) ⑬ そ の 他
被 害 者	住 所 (            ) 氏 名 (            ) 生年月日 (            ) 連 絡 先 (            )
遺留品の有無	有 (            ) ・ 無

### 不審者通報メモ（例）

日 時	令和 月 日 時 分頃
場 所	住 所  目標物
不 審 者 特 徴	① 男 ・ 女 （ ）人 ② 身 長 （ ）センチ位 ③ 年 齢 （ ）歳位 ④ 体 格 （ 肥満 ・ 普通 ・ 痩せ ） ⑤ 服 装 上衣 （ ） 下衣 （ ） ⑥ その他特徴 （例：眼鏡, ひげ, 帽子等）
不 審 車 両	ナンバー （ ） 塗 色 （ ） 車 名 （ ）
不 審 点	
通 報 時 間	時 分頃
成田警察署 受理者氏名	課 名 氏 名